

租税教育実践発表会資料



石巻市立 湊中学校

講師 湊谷 直樹

1 はじめに

「租税教育事例集」(平成 27 年 4 月発行 租税教育推進関係省庁等協議会)には、「国民生活や経済社会と密接に関連する税は、私たちの暮らしや社会に欠かせない多様な公共サービスを提供する国や地方公共団体の活動の財源であり、国の様々な制度の中でも根幹的なものです。(中略)次代を担う児童・生徒等が、国の基本である税の役割や申告納税制度の意義、納税者の権利・義務を正しく理解し、国や社会の在り方を主体的に考えることは、民主国家の維持・発展にとって極めて重要なことであると考えられます。」とある。

また、中学校社会科学学習指導要領において、租税に関する内容としては、[公民的分野]2 内容「私たちと経済(2)国民の生活と政府の役割」で、ア(イ)「財政及び租税の意義、国民の納税について理解すること」イ(イ)「財政及び租税の役割について、多面的・多角的に考察し、表現すること」とある。

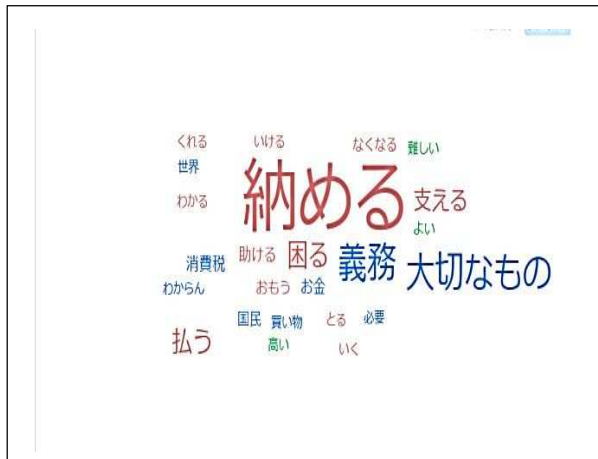
このことについて学習指導要領解説では、アの(イ)については、「(前略)税の負担者として租税の使いみちや配分の在り方を選択・判断する責任があることなどについて理解と関心を深めるなど納税者としての自覚を養うことが大切である。」とし、イの(イ)については、「(前略)国民や住民が受ける様々な公共サービスによる便益と、それにかかる費用に対する負担など財政の持続可能性に関わる概念などに関連付けて多面的・多角的に考察し、表現できるようにすることを意味している。」とある。

以上のことから、今回の租税教育を通じて、税は身近で大切なものであること、今そして、未来へつながるものであることに気付かせていきたい。

2 生徒の実態

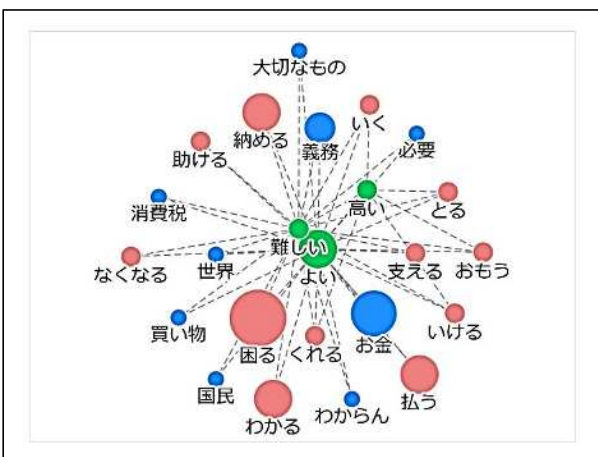
租税教育を実施するにあたって実施したアンケートの結果と分析は以下のとおりである。

問 1 税についてどのようなイメージを持っていますか(自由記述)



自由記述を「AI テキストマイニング」で分析したところ最も出現率の高かった単語は「納める」であった。次に高かったのは「大切なもの」「義務」であった。

このことより、納めなければならない大切なものとしての認識を持っている生徒が多いことが伺われる。



また、同様に、共通のワードを線で結び、出現率の高いものを大きく表したところ、最も共通の頻度で出てきたのは「難しい」であった。そして、頻度として「納める」「困る」「お金」が関連する単語として現れた。

問2 あなたは、税の種類について、どんな税を知っていますか？(複数回答可)

わからない(3)
消費税(9)所得税(3)関税(2)贈与税(1)
住民税(1)たばこ税(1)温泉税？(1)法人税(2)
直接税(1)間接税(1)納税？(1)租税(2)
税金(3)

最も、身近な税として「消費税」があること、その他の税について知っている生徒がいる一方で、知識があいまいな生徒も多いことが分かった。

問3 あなたの税に対する考えや思いを自由に書きなさい。



公共のものに使われているというイメージの生徒が多いことが分かった。

3 指導にあたって

本校は、宮城県の沿岸部にあり、10年前の東日本大震災において、甚大な被害を受けた場所にある。そのため、地域の復興に税が使われていることを身近なものとしてとらえている生徒も多いことが分かった。また、学習指導要領に「財政の持続可能性に関わる概念などに関連付けて多面的・多角的に考察」とあるように、税に関して、主体的に学ぶためには、系統立てて学習することが大切と考える。そのために、本来ならば、税に関する内容は、3年生の公民で扱うのであるが、歴史を学習している2年生のうちに、国税庁の資料を用いて、2年時のうちに歴史的な側面から税について学習し、来年度、再度学習することで、主体的に税について考える生徒を育てていきたい。

4 指導計画(3時間扱い)

	学習活動	内 容
1	税の歴史について知る	国税庁ホームページ「税の学習コーナー」を用いて、税の歴史を知る。
2	税について調査する	税について知りたいことを、タブレット端末で調べ学習をする。
3	税について調査したことを発表する	学んだことを発表し、共有する。

5 学習活動の展開

時間	学習活動	学習の様子・指導上の留意点
1	1 知っている税をあげてみましょう。	①自由に発表。 ※消費税，所得税などが挙げた。
	2 税は，なぜあるのでしょうか。また，税の使い道についても，考えてみましょう。	②自由に発表。 ※学校，道路，救急車，警察，政治，ワクチン代，iPadなどが挙げた。
	3 税の歴史を振り返ってみましょう。 ・iPadでGoogle「classroom」を活用 ・国税庁h pの「税の学習コーナー」の学習・発展編「税の歴史」を活用して，既習事項を振り返る。	③自由に発表。既習内容を共有する。 ③飛鳥時代，奈良時代，平安時代に掛けて，税の目的や税がどのように移り変わったかなどを振り返る。 ③室町時代や江戸時代には，どのような税が存在したかなどを振り返る。
	4 現代の税について，学習しましょう。 ・国税庁h pの「税の学習コーナー」の租税教育用教材「中学生用教材及び講師用マニュアル」を開き，現代における税のあり方について学習する。	④税が，自分たちの生活の様々な部分に生かされ，支えとなっていることを知る。 ※「公立学校の児童・生徒1人あたりの公費負担教育費」で，自分たち1人1人にかかる金額を知り，驚く様子が見られた。 ※「税の国際比較」消費税の課税標準税率の「世界の消費税率」に驚く様子が見られた。
	5 税について，興味のあることを調べ，まとめてみましょう。 ・生活班ごとに，国税庁h pの「税の学習コーナー」の学習・発展編の資料を見て，自分たちが調べる課題について相談し，決定する。	⑤生活班で，税についてそれぞれが興味を持ったことについて共有し合い，班ごとにまとめる内容を検討して決定する。 ★iPadでGoogle「classroom」を活用し，班ごとのgoogleスライドを送信する。
2	6 各班で決めたテーマについて，調べてまとめましょう。 ・iPadやp cを用いて，googleスライドを使用。 ・生活班ごとに，国税庁h pの「税の学習コーナー」の学習・発展編の資料を参考にして，調べ・まとめ活動を行う。	⑥各班で役割分担をし，googleスライドによる調査・まとめ活動を行う。 ★報告会での役割分担も決めさせる。
3	7 税に関する調査・まとめ活動の報告会	⑦各班で税に関して興味を持って調べて，googleスライドでまとめた内容を発表する。 ★電子黒板，p c，iPadを準備する。
	8 まとめ・振り返り ・googleフォームの振り返りアンケートを活用。	⑧租税教育授業を振り返る。 ★iPadでGoogle「classroom」を活用し，googleフォームで作成したアンケートを送信する。 ⑨全員のアンケートへの回答終了後，感想やアンケート結果を共有する。

【実際に生徒が発表したスライドの一部】

① 「税金が何に使われているか」を調べ、そこから「税金がなくなったら」と発展させて発表した班

1.税金って何だろう？

納められた税金は、
・警察、消防 ・道路、水道の整備 ・年金
・医療 ・教育
などに使われている。これらに必要なお金をみんなで
出し合って負担するのが「税金」である。
税金は社会を支えるのに欠かせない存在なのである。
そんな税金がもし無くなったら、……



税金がなくなったら

- ・救急車が**有料**に
- ・医療費がすべて**自己負担**に
- ・ごみ収集が**有料**に
- ・交番が**有料**に

このように、税金がなくなったら**公共サービス**を受けるのに全ての費用を自分で負担しなければならない。
みんなが豊かで安心して暮らしていくのに、税金はとても大切。

② 「税の種類」を調べ、そこから「みんなのために役立つ活動に使われる」とまとめた班。

税について(・▽・)

- 1、税って何だろう
- 2、税の種類
- 3、税の使い道



税は会費のようなもの

私たちが納めた税金は、「みんなのために役立つ活動」や、「社会での助け合いのための活動」に使われています。
そのために必要なお金をみんなで負担するのが「税金」です。
つまり税金は、みんなで社会を支えるための「会費」といえるでしょう。

- ・「みんなのために役立つ活動」＝警察・消防や、道路・水道の整備
- ・「社会での助け合いのための活動」＝年金・医療・福祉・教育など

③ 「世界の税」について調べ、そこから、他国と日本の違いや、もし税がなくなったらと考えた班

世界の税

～日本と海外諸国の税～



まとめ

- ・世界で消費税が一番高い国はハンガリー
- ・日本の税は、他国と比べてそこまで高いわけではない
- ・もし、税金が無くなったら何か危険な事が起きたとしてもお金を払わないといけなくなる。

④申告納税制度について調べた班

⇒

納税の義務

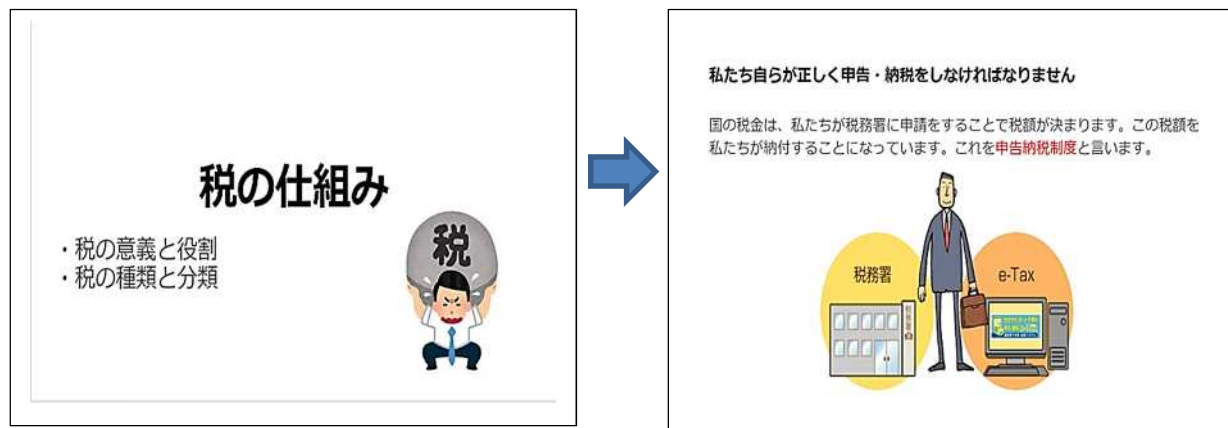
納税？ 義務？



なぜ税が必要なのか？

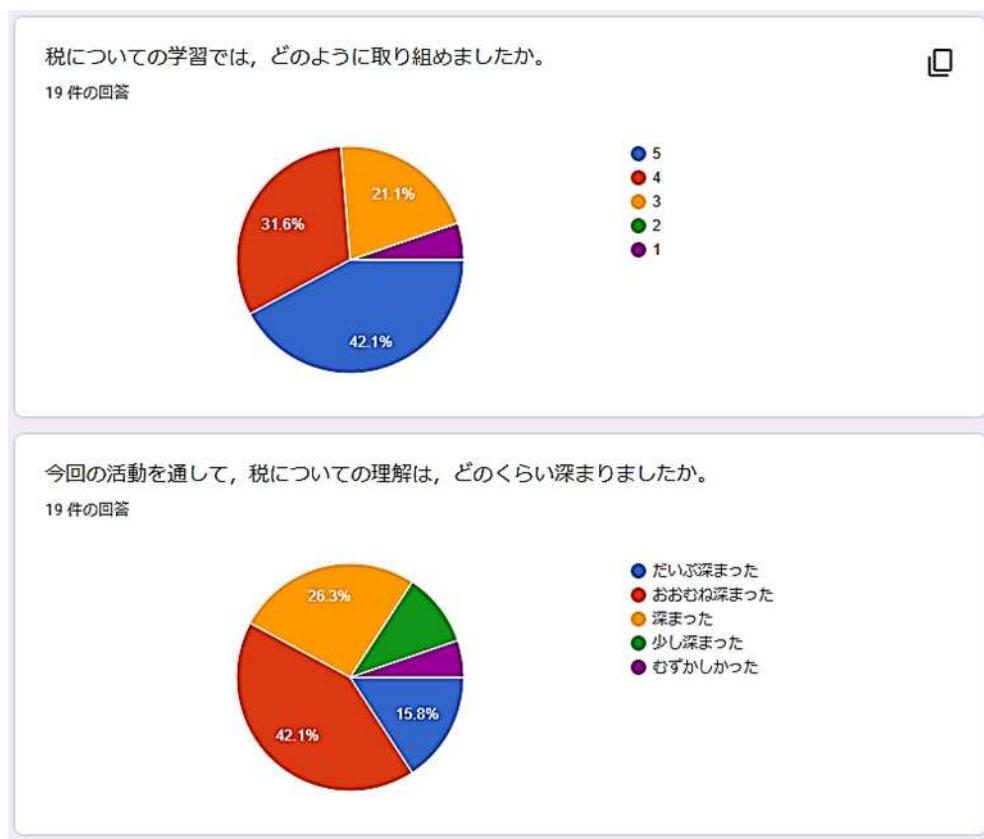
私たちが健康で文化的な生活を送るために、
個人ではできない様々な仕事している
↓ そのために・・・
多くの費用が必要になるその費用を
『税金』という。

⑤「なぜ税が必要なのか」という視点から、「税の種類」を調べた班



6 生徒の感想

実践後、のアンケートの結果、「税についての学習では、どのように取り組めたか」という質問に対して、肯定的な意見が94.7%であった。また、「今回の活動を通して、税についての理解はどのくらい深まったか」という問いに対しては、肯定的意見は84.2%であった。



〔生徒の感想〕

- ・税がいっぱいあるんだと理解した。
- ・面白かった。
- ・税はあったほうがいいと思った。
- ・楽しかった。
- ・自分たちで税について調べたり、まとめたりする事で税についての知識を増やすことができたので、良かったです。
- ・税は、私たちが生活する上でとても大事なものだと感じた。

- ・税についてあまり考えたことがなかったけど、今回でたくさん税金の役割が分かって良かった。社会に向き合いたいと思った。
- ・税金について、いろいろなことが知ることができて良かった
- ・税の種類がたくさんあって難しかったけど、税の種類を知ることができて良かったし、班での調査活動も楽しく取り組むことができたから良かった。
- ・消費税くらいしか分からなかったけど、色々分かったような気がする
- ・スライドで分かりやすくまとめるのが難しかった。税の仕組みについても改めて知ることができて良かった。
- ・税にはいろんな種類がある事を知ることができました。
- ・いろいろな税に関する事を知ることができたので、良かったです。これからもっといろいろな事を知りたいと思いました。
- ・いろいろな税金があるという事を知ることができて良かった。
- ・身近にある税金だけど、知らないことばかりだったので、今回の学習で学ぶことができて良かった。
- ・税のことがいろいろ分かったので良かったです。
- ・楽しく税のことを調べて、みんなで税のことをまとめられたので良かったです！（・▽・）
- ・スライドを使った作業など難しいこともあったけれど、様々な税の種類や税の役割など、前まではあまり詳しくなかった税について色々知ることができて良かったです。

7 成果と課題

- ・税の歴史を振り返り、現代における税の種類を知ること、人口増加に伴う、国政運営のための税収の必要性がより高まっていることを考えさせることができた。
- ・税に関して、生徒自身が関心を持ったことを調べたり、まとめたりさせることにより、より理解を深めさせることができた。
- ・タブレット端末を活用しての意見交換やまとめを行うことで、普段、言葉を発しての発表を苦手とする生徒も意欲的に活動に取り組む姿を見ることができて良かったと思う。
- ・税に対して、より身近にとらえ、いかに必要なものかと考えさせることができた。
- ・今回の活動を通して、次年度は、地方自治における税の活用についての学習をより細やかに進め、更に理解を深めさせたいと思う。